

琵琶湖を切り口としたSDGs

マザーレイクゴールズ(MLGs)が 目指す持続可能な社会



「持続可能」とは?

「<u>持続可能な開発」</u>の定義 (Sustainable Development)



- ~ <u>1987年 ブルントラント委員会</u> (環境と開発に関する世界委員会)<u>報告書</u> ~
- →「将来世代の欲求を満たしつつ、 現在世代の欲求も満足させるような開発」

持続可能な開発目標「SDGs」(2015年、国連サミットで採択)



SUSTAINABLE GALS DEVELOPMENT GALS

世界を変えるための17の目標



































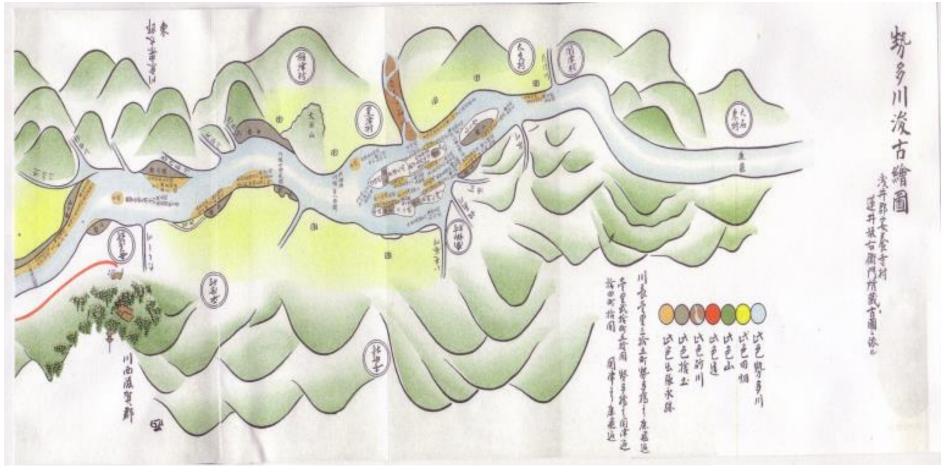


マザーレイクゴールズ(MLGs)とは

マザーレイクゴールズ(MLGs)とは、「琵琶湖」を切り口とした2030年の持続可能社会の実現を目指す目標(ゴール)であり、「琵琶湖版のSDGs」



江戸時代の瀬田川浚渫の悲願



「琵琶湖治水沿革誌」から

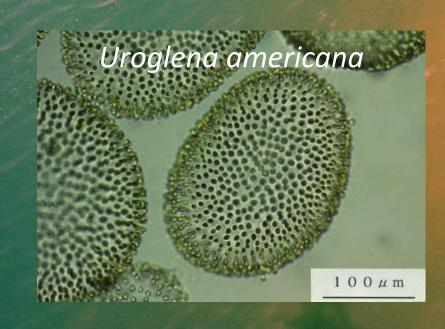
- ✓ 河村瑞賢による瀬田川浚渫(1699年)の図面
- ✓ その後は、下流の反対や軍事上の理由などから、浚渫は容易には認められなかった。

明治29年(1896年)9月洪水の様子(近江八幡市内)



琵琶湖の異変:淡水赤潮の発生(1977年)

この頃の琵琶湖の問題は、 淡水赤潮の大発生に端を発する 富栄養化であった



写真出典:滋賀県

住民による「石けん運動」の展開



主婦らによるキャンペーン (少し不便でも、りんを含まない石けんの使用推進)





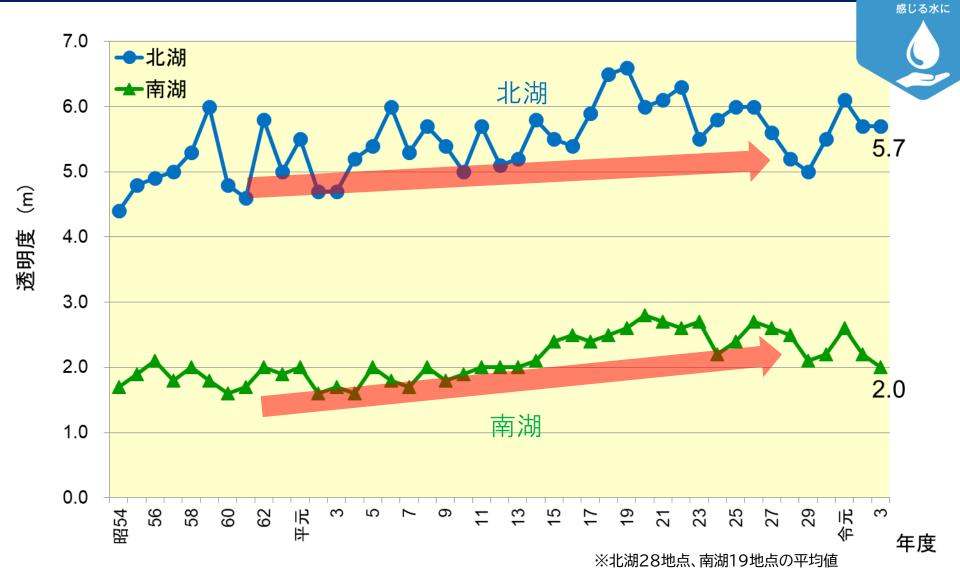


赤潮

琵琶湖の 富栄養化 流れ込む水を きれいに

石けん運動、下水道の整備 工場排水対策、農業濁水対策 等 琵琶湖の 水質改善

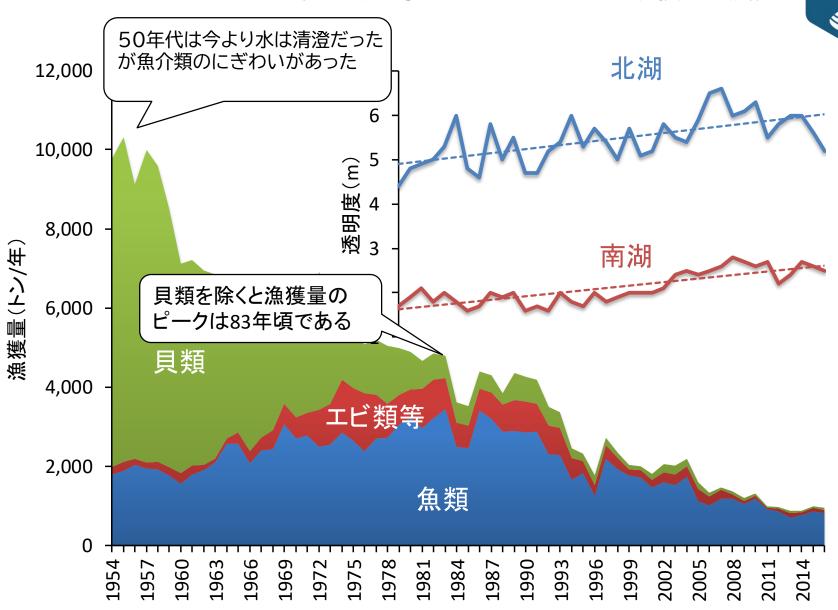
琵琶湖の水質の推移



清らかさを

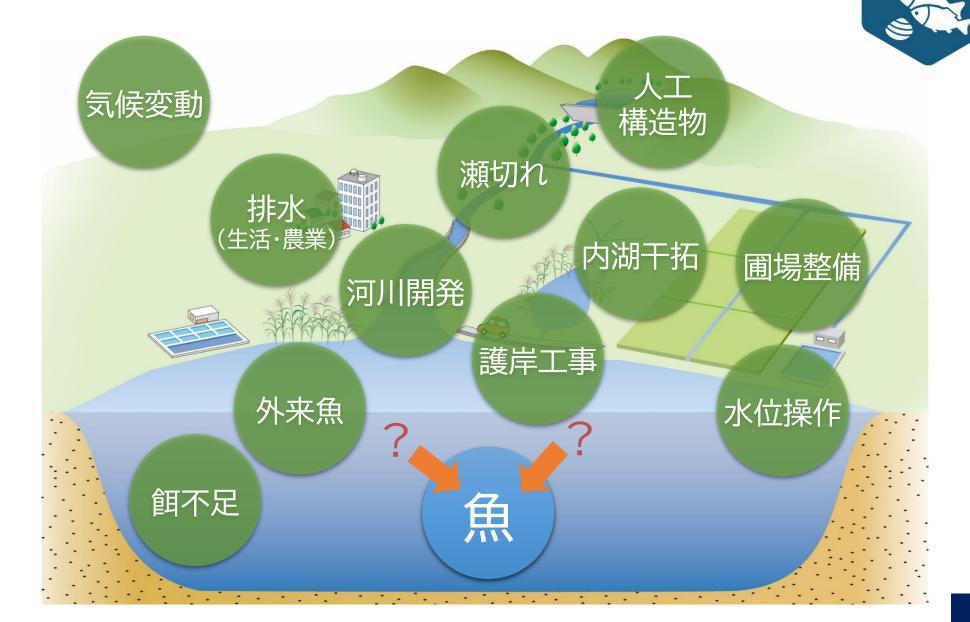
2 豊かな魚介類を 取り戻そう

○ 琵琶湖の水はきれいになったが漁獲量は減少



在来魚が減少した要因とは

2 豊かな魚介類を 取り戻そう



滋賀での暮らしは琵琶湖と密接不可分



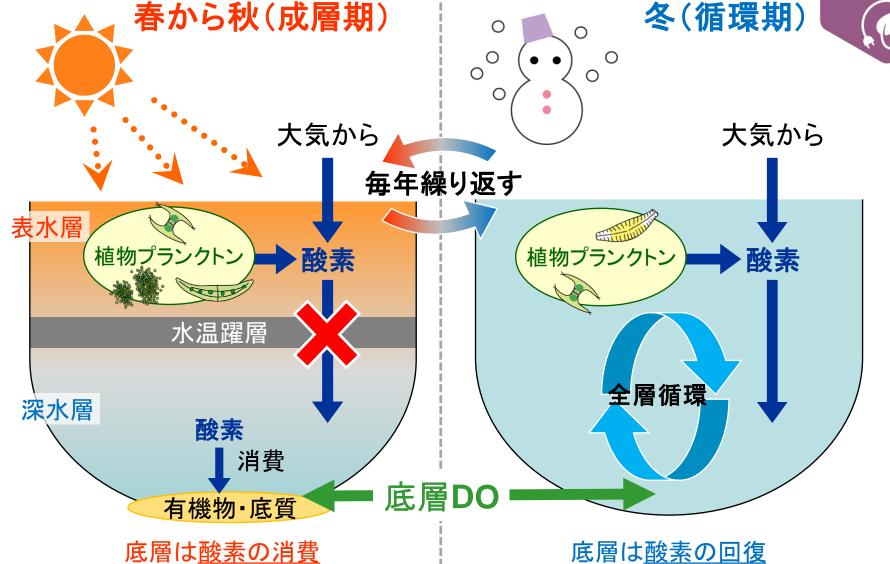
- ✓琵琶湖の水は全て、滋賀県内 のどこかに降った雨や雪が流 れてきたもの。
- ✓土砂やゴミも水に流されて琵琶湖へとやってくる。
- ✓琵琶湖の周りに住む私たちの生活・営み・社会のあり方が、様々に環境に作用し、琵琶湖の問題として立ち現れてくる。

✓琵琶湖は、<u>人々の暮らしと</u> 自然環境の関係を考え、<u>持続</u> 可能な社会に向けた取組を進 めるために<u>最適なフィールド</u>

全層循環(琵琶湖の深呼吸)

びわ湖のためにも 温室効果ガスの 排出を減らそう





➡平成30年度・令和元年度 未完了

関わり方の転換を迫る琵琶湖

- ○人々の琵琶湖への関わり方 ・全体として琵琶湖と人々との間の<u>健全で持続性のある関係性</u>をどの
- ・全体として琵琶湖と人々との間の<u>健全で持続性のある関係性</u>をどのように築いていくか。

【近代化以前】あるがままの琵琶湖からの恩恵を受ける。➡持続可能

【近代社会】人間側の必要から人々にとって都合の良いものに琵琶湖 を変える(湖岸堤防、内湖干拓 等) ➡その結果、様々な課題に直面

・琵琶湖が抱える課題は様々にあるが、これらは別々に存在するものではなく、複雑に絡み合っている。琵琶湖と人々が共生する関わり方を創出するために、個別の課題を全体像の中で位置づけることが重要。 ・多様な価値観や考え方、様々な世代がある中で、同じ目標を共有して、 その目標の達成を目指していくことが求められる。

マザーレイクゴールズ(MLGs)とは

マザーレイクゴールズ(MLGs)とは、「琵琶湖」を切り口とした2030年の持続可能社会の実現を目指す目標(ゴール)であり、「琵琶湖版のSDGs」



Mother Lake Goals

変えよう、あなたと私から

- ✓ 令和3年7月1日(「びわ湖の日」40周年記念日)に策定
- ✓ 琵琶湖を中央に配し、周囲には円形の中に13のゴールカラーを配置
- ✓ 円形は琵琶湖を取り巻く湖国・滋賀、そして地球を表現している
- ✓ 「琵琶湖は暮らしを映す鏡」「琵琶湖は地球環境を見通す窓」であることを表し、琵琶湖・滋賀から世界を変えるための目標であることを示している。

琵琶湖を切り口とした13のゴールの設定



琵琶湖を切り口とした13のゴールの設定



マザーレイクゴールズ(MLGs)Goal 1~3





守山市なぎさ公園

Goal1 清らかさを感じる水に

アオコや赤潮などのプランクトンの異常発生が抑制され、飲料水としても問題がなく、思わず触れたくなるような清らかな水が維持される





湖魚の漁獲

Goal2 豊かな魚介類を取り戻そう

在来魚介類の生息環境が改善し、資源量・漁獲量が持続可能な形で増加するとともに、人々が湖魚料理を日常的に楽しむ





ナゴヤダルマガエル

Goal3 多様な生き物を守ろう

生物多様性や生態系のバランスを取り戻す取組が拡大し、野生生物の生息状況が改善するとと もに、自然の恵みを実感する人が増加する

マザーレイクゴールズ(MLGs)Goal 4~6





家棟川の清掃活動

Goal4 水辺も湖底も美しく

川や湖にごみがなく、砂浜や水生植物などが適切に維持・管理され、誰もが美しいと感じられる水辺景観が守られる





米原市与九郎滝

Goal5 恵み豊かな水源の森を守ろう

水源涵養や生態系保全、木材生産、レクリエーションなどの多面的機能が持続的に発揮される森林づくりが進み、人々が地元の森林の恵みを持続的に享受する





長浜市大浦川

Goal6 森川里湖海のつながりを健全に

森から湖、海に至る水や物質のつながりが健全に 保たれ、湖と川、内湖、田んぼなどを行き来する 生き物が増加する

マザーレイクゴールズ(MLGs)Goal 7~9

びわ湖のためにも 温室効果ガスの 排出を減らそう





事業所からの排気ガス

Goal7 びわ湖のためにも 温室効果ガスの排出を減らそう

日常生活や事業活動から排出される温室効果ガス を減らす取組が広がり、琵琶湖の全層循環未完了 などの異変の進行が抑えられる





草津市葉山川

Goal8 気候変動や自然災害に強い暮らしに

豪雨や渇水、温暖化などの影響を把握・予測し、 そうした事態が起きても大きな被害を受けない 暮らしへの転換が進む





野洲市魚のゆりかご水田

Goal9 生業・産業に地域の資源を活かそう

地域の自然の恵みを活かした商品や製品、サービスが積極的に選ばれ、地域内における経済循環が活性化し、ひいては環境が持続的に守られる

マザーレイクゴールズ(MLGs)Goal 10~12





髙島市マキノ町

Goal10 地元も流域も学びの場に

琵琶湖や流域、自分が生活する地域を環境学習のフィールドとして体験・実践する機会が豊富に提供され、関心を行動に結びつけられる人が増加する





長浜市南浜水泳場

Goal11 びわ湖を楽しみ 愛する人を増やそう

レジャーやエコツーリズムなどを通じて自然を楽し む様々な機会が増え、琵琶湖への愛着が育まれる





高島市海津大崎

Goal12 水とつながる祈りと暮らしを次世代に

水を敬い、水を巧みに生活の中に取り込む文化や、 水が育む生業や食文化が、将来世代へと着実に継承 される

マザーレイクゴールズ(MLGs)Goal 13





マザーレイクフォーラム びわコミ会議

Goal13 つながりあって目標を達成しよう

年代や性別、所属、経験、価値観などが異なる人同士、また異なる地域に住まう人同士がつながり、琵琶湖や流域の現状、これからについて対話を積み重ね、その成果を共有できる機会が十分に提供される

ゴール1~6 琵琶湖流域の自然環境に関するゴール



ゴール7~12

琵琶湖を取り巻く暮らしに関するゴール

ゴール13 全体を貫くゴール

SDGsとの関係性

マザーレイクゴールズ(MLGs)とは、「琵琶湖」を切り口とした2030年の持続可能社会の実現を目指す目標(ゴール)であり、「琵琶湖版のSDGs」



琵琶湖を通じて自分たちの活動がSDGsにつながっていることを発見する

- ✓ SDGsの視点から見ると、琵琶湖を通じてSDGsをアクションまで落とし込む仕組みがMLGsであり、MLGsの取組はSDGsの達成に貢献するもの。
- ✓ マザーレイクゴールズ(MLGs)からの視点で見ると、琵琶湖を通じて、石けん運動以来40年にわたる県民等多様な主体による活動がSDGsに繋がっていることを発見する仕組み。

- 賛同者数 <u>1,407者</u>(令和5年2月末日現在)
- ○ロゴマーク等の活用
 - 著作権は滋賀県が保有



- 使用の手続き
 - マザーレイクゴールズ(MLGs)ロゴマーク利用取扱要領により運用 ✓ 賛同者は、MLGsの推進および情報発信のため、普及啓発、資金調 達、商業利用等を目的として届け出た上でロゴマークを利用するこ とが可能
- ロゴマーク利用届出数 217者(令和5年2月末日現在)
- 商標登録済



○ ロゴマークの利用例



MLGs nanacoカード (セブン-イレブン ジャパン株式会社)



ライスレジン製ごみ袋 (ONE SLASH)



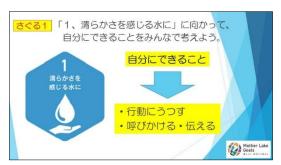
スタンプラリーイベント、壁面展示 (イオンモール草津)

もっと琵琶湖を知るか!

一周約200km



トートバッグ (滋賀県職員生協)



学習教材 (びわ湖フローティングスクール)



24時間テレビイベント展示 (読売テレビ大阪本社)



ピンバッチ (信楽くるみ作業所)

〇ワークショップ等の実施

主催·共催等事業

令和4年度:44事業

(令和5年2月末日現在)



	実施回数		参加延べ人数	
	R3年度	R4年度	R3年度	R4年度
主催事業	28	26	874	802
共催·参加事業	7	18	466	1,560
計	35	44	1,340	2,362
総計	79		3,702	





○ MLGsをテーマとした環境学習 (小・中・高)











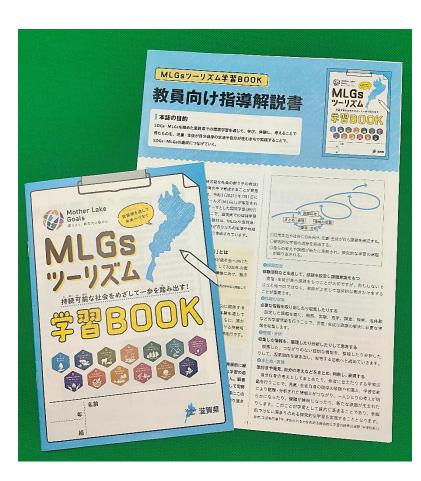
【令和3年度】

- 9/20 同志社中学校1~3年生(京都府)オンライン
- 9/27 東近江市立玉園中学校1年生
- 9/28,29 守山市立守山北中学校1年生
- 10/6 立命館慶祥中学校2年生(北海道) オンライン
- 11/12 東近江市立五箇荘小学校4年生
- 11/15 県立守山北高校3年生

【令和4年度】

- 4/27 初芝立命館高校1年生(大阪府)
- 6/27 興南中学校2年生(沖縄県) オンライン
- 6/28 永源寺中学校(全校)
- 10/5 青山中学校1年生(岐阜県)
- 10/5 東近江市立能登川北小学校5年生
- 10/21 草津市立草津第二小学校5年生
- 10/22 奈良学園中学校·高等学校(奈良県)
- 11/24 長浜市立永原小学校
- 12/20 光泉カトリック中学校(全校 草津市)

○ MLGsツーリズム学習BOOK



MLGsをテーマとした環境学習や 教育旅行の補助教材として作成

【対象】

✓ 小学校高学年~中学生

【特徴】

- ✓ 課題設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・ 表現というサイクルが発展的に繰り返される「探究的な学習」が実践できる内容
- ✓ 教育旅行での活用もふまえ、滋賀県観光振興 局やびわこビジターズビューロー、県内旅行事業者 とも連携して作成・発信
- ※ MLGs WEB(MLGs公式サイト)でPDFデータを公開中! ダウンロードしてご利用いただけます!

○ イベント等への参加、様々な媒体とのコラボ





県内外のイベント等に参加・出展

- 8/27,28 <u>24時間テレビ</u>: 読売テレビ 本社イベント (大阪市)
- 9/14 たまゆら<u>SDGs</u>ユニフォームからはじめ る!サステナブル展(京都市)















様々な媒体とのコラボ

- <u>MLGs nanaco</u> 発行(2021.6)
- LEXUS 2023カレンダーに掲載
- 月刊誌<u>FRaU(フラウ)</u>2023.1月号に掲載

○ MLGs体操100万人プロジェクト!(令和3~4年度)

- ✓ 「体を動かして代謝をあげ、空調に頼らない身体づくりをしよう!」と、MLGs広報大使 伊藤みきさんプロデュースによる「MLGs体操」を、振付家 鈴村英理子さんの指導の もと、滋賀県立大学とのコラボにより制作
- ✓ 令和4年6月25日、「びわ湖の日イベント」でお披露目。その後、大津商工会議所、学習船 うみのこ、日野町でのイベントなど、様々な場所でMLGs体操の輪が広がっている。 (エニタイムフィットネス、ミスアース滋賀とも連携)
- ✓ MLGs体操のバックで流す「**マザーレイクゴールズのうた**」を、MLGsに賛同いただいた 「近江八幡児童合唱団スキップ」の皆さんに歌っていただいた。



びわ湖の日イベント(R4.6.25)



日野町でのイベント(R4.9.22)

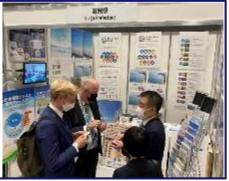


近江八幡児童合唱団スキップによる合唱



○国際発信













MLGsの国際分野での発信実績

①第4回アジア・太平洋水サミット

(令和4年4月23日,24日 熊本県熊本市)

- ✓「水と環境分科会」で知事がMLGsを発信
- ✓「<u>現地展示会</u>」でのMLGs等パネルを出展

②国際シンポジウム2022

(令和4年10月15日 滋賀県草津市)

- ✓ (公財)国際湖沼環境委員会(ILEC)が主催
- ✓ 会場とオンライン合せて世界20ヶ国から 175名が参加
- ✓ 講演およびパネルディスカッションにおいて MLGsの取組を発信

③ベトナム行政機関訪日研修

(令和4年11月8日 滋賀県大津市)

✓ ベトナム ハイフォン市・クアンニン省の 行政職員へ研修としてMLGsの取組等を紹介

4)駐日外交団滋賀県視察

(令和4年11月10日 滋賀県大津市)

- ✓ 外務省と滋賀県が共催し、県内視察と レセプションを開催
- ✓ 13ヵ国の駐日大使等へMLGsの取組を紹介

○ 国際発信













MLGsの国際分野での発信実績

⑤第5回アジア欧州都市水管理シンポジウム (令和4年11月17日 オンライン開催)

- ✓ 湖南省人民政府(科学技術庁)とアジア欧州 基金が共同開催
- ✓ 滋賀県からゲストスピーチとしてMLGsの 取組等を発信

⑥二カラグアとのオンライン交流会

(令和4年11月18日 オンライン開催)

- ✓ JICAニカラグア事務所、滋賀県国際協会を 通じて開催。
- ✓ ニカラグアで実施されているUMINOKO 事業やMLGsの取組について意見交換

⑦JICA2022年度 課題別研修

(令和5年1月17日 滋賀県大津市)

✓ <u>9ヵ国の行政関係者</u>へ琵琶湖の保全再生の 取組やMLGsについて講演およびポスター セッションにより発信

8<u>ブラジルでの天皇誕生日祝賀レセプション</u> (令和5年2月9日

リオ・グランデ・ド・スール州都ポルトアレグレ市)

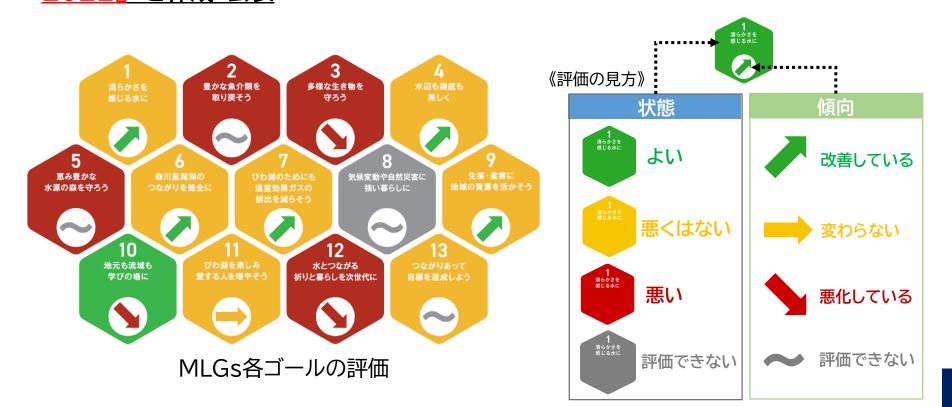
- ✓ <u>在ポルトアレグレ領事事務所</u>にて現地政府・ 地元企業関係者へMLGsパンフレットを配付
- ✓ 州文化局長官・市公安長官など173名出席

○ MLGsの評価

- ✓ 学術的な観点から琵琶湖および流域の環境と社会の状態について整理・解析するため、 MLGsに掲げる13のゴールに精通した 13人の専門家により構成されるMLGs学術フォーラムを組織
- ✓ MLGs学術フォーラムにて、MLGs評価報告書『シン・びわ湖なう 2022』を作成・公表



MLGs評価報告書 『シン・びわ湖なう2022』



O MLGsみんなのBIWAKO会議/COP1

✓ MLGsに参画・関与している様々な関係者が一堂に会し、琵琶湖と流域の自然環境 や暮らしの状況について話し合い、「MLGsの達成状況の評価」と「今後の取組」につ

いて認識の共有を図ることを目的に開催。

MLGsみんなのBIWAKO会議/COP1 開催実績

■開催日:令和4年9月24日(土)

■会議内容:

- ✓ MLGs評価報告書「シン・びわ湖なう2022」 の報告
- ✓ 過去一年間のMLGs活動の報告
- ✓ 伊藤みきMLGs広報大使によるMLGs体操
- ✓ MLGs活動の実践者、事業者、 専門家と学び合う分科会など



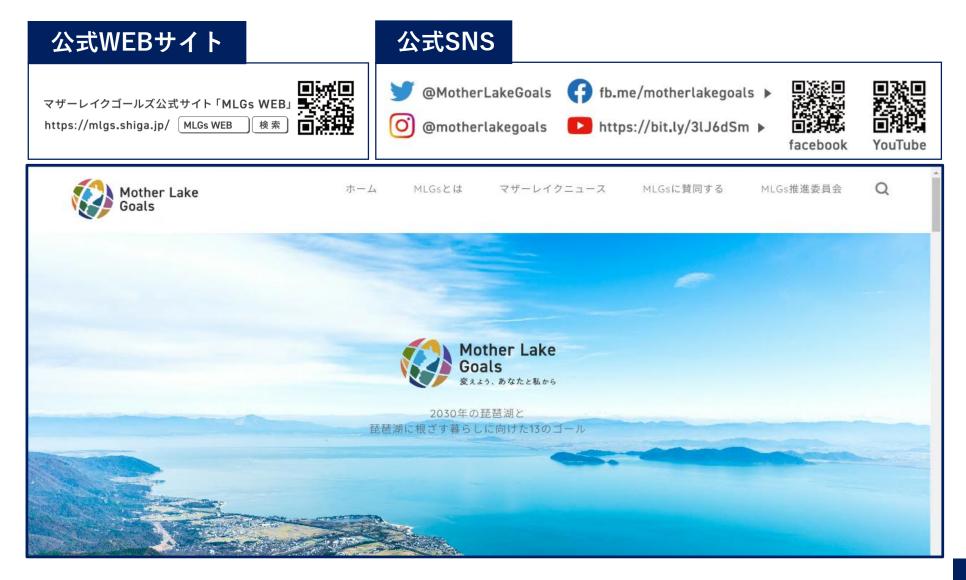
○「MLGs WEB」の運営

- ✓ 公式サイト「MLGs WEB」を通じて情報発信を行っている。
- ✓ 執筆者の多くは県内外の大学生・高校生の皆さんで、若い世代が、既に地域で進められている、持続可能な社会・MLGsの達成につながる様々な取組に接する機会となっている。

【学生ライターによる記事(一部抜粋)】

	執筆者
「びわ湖の研究者になろうツアー〜家棟川探検隊!水と生き物を調べてみよう!〜」を実施しました	京都外国語大学生
お魚を通じて伝えたい琵琶湖のこと(絵本「はじめてのびわこの魚」)	立命館大学生
Let's Try MLGsに迫る vol.1~3 (MLGsマンガ「Let's Try MLGs」の作者インタビュー記事)	立命館大学生
近江八幡市立健康ふれあい公園5周年フェスティバル	立命館大学生
ビワイチワークショップが行われました	立命館守山高校生
シン・びわ湖なう 紹介 vol.1~3 (シン・びわ湖なう 発行のキーパーソンへのインタビュー記事 vol.1:三和案内人幹事、vol.2:佐藤案 内人代表、vol.3:岸本学術フォーラム代表)	立命館大学生
イナズマロックフェス「おいで〜な滋賀 体感フェア」見学レポート	立命館守山高校生
独・ベルリン 国際陸水学会でMLGsの活動を発表しました	立命館大学生

MLGsの最新の取組やワークショップの情報などを随時更新中







Thank you…